八千代リハビリテーション病院

イベント参加予定表

日付	イベント名	場所	内容など
11/8 〜 11/9	八千代どーんと祭 2025	八千代 総合運動公園	健康度チェックを行います。血管年齢チェックと筋力量チェックを実施します!
11/30	やちけあフェス	八千代市 福祉センター	転倒リスク計測や飲み込み検査などを実施します!
毎月 第2水曜日	やちリハ 出張健康教室	八千代市 福祉センター	認知症予防や転倒予防などの講話、体操や体力測定を定期的に実施中!

病院周辺マップ



交通のご案内

<京成電鉄勝田台駅からのご案内>

勝田台駅から東洋バスで米本団地行15分
「八千代リハビリテーション病院」停留所下車

<お車をご利用のご案内>

国道16号線柏方面からお越しの方

米本交差点を右折し病院後方入口より
お入りください。

国道16号線千葉方面からお越しの方

米本交差点を通過のうえ病院正面入口を左折してください。

<送迎バスのご案内>

京成勝田台駅北口、千葉ニュータウン
駅より無料送迎バスが
運行しています。
詳しくはHPをご確認ください。 当院HP▶

八千代リハビリテーション病院　広報誌
クローバー vol.58
令和7年　11月発行

企画発行
八千代リハビリテーション病院
広報委員会
〒276-0015　千葉県八千代市米本1808番地
TEL 047-488-1555 ／ FAX 047-488-1552

広報誌 クローバー

https://yachiyo-reha.com

広報誌　Clover ／2025.11　秋号
Yachiyo Rehabilitation Hospital

クローバー vol.58

CONTENTS

2P ✤ 夏祭り
3P ✤ やちリハ花火大会
4P ✤ 健康教室
5P ✤ 花火大会ボランティア参加
✤ ワンポイントレッスン
6P ✤ レスキューキャリーマット研修会・避難訓練
7P ✤ むすびプロジェクト
✤ 献血!
8P ✤ イベント参加予定

カマチグループ
一般社団法人 巨樹の会
八千代リハビリテーション病院
〒276-0015　千葉県八千代市米本1808番地
https://yachiyo-reha.com

夏祭り





実行委員会集合写真



ヨーヨー釣り 取れるかな？

患者さんに季節を感じ、気分転換していただきたい思いで夏祭りを開催しました。準備は各部署のスタッフだけでなく、患者さんにも協力していただき病院全体で取り組みました。当日は法被やお面を身に着け、ヨーヨーすくいや玉入れ、集団ゲームを実施しました。集団ゲームでは患者さんとスタッフだけでなく、患者さん同士の協力・応援もあり盛り上がりました。栄養科からはノンアルコールビール・ラムネの提供があり、季節を感じられ大好評でした。夏祭り後には患者さんから「楽しかった。」「いい思い出になった。」との声を多くいただき、スタッフ一同開催してよかったと感じることが出来ました。今後も患者さんに楽しく充実した入院生活を送っていただけるようにイベントを開催していきたいと思います。


夏祭り会場



白熱！病棟対抗ゲーム



景品目指して玉入れゲーム

やちリハ花火大会

2025年9月24日に当院の中庭で第2回やちリハ花火大会を開催しました。

今年は打ち上げ花火数を昨年度の倍に増やし、約200発の花火が病院の空に咲きました。

患者さんは、ウッドデッキ・病棟デイルームで観覧され、花火が打ち上がると〝たーまやー!!〟と掛け声が聞かれました。観覧席が盛り上がる中でスタッフも楽しく打ち上げることが出来ました。終了時には、患者さんから喜びの声と笑顔をいただき、スタッフ一同開催してよかったと充実感が得られました。

これからも患者さんの入院生活に彩りを添えられるよう、様々なイベントを開催していきたいと思います。


打ち上げスタッフと花火


花火鑑賞場面

2025

健康教室



▲ 7/21健康教室の様子

今年度の健康教室は6月からスタートし、7/21「認知症について」、8/18「食事と栄養」のテーマで実施しました。入院患者さんだけでなく、ご家族さん、テーマが気になってお立ち寄りいただいた方など多くの方々にご参加いただきました。「認知症について」では、当院の認知症看護認定看護師より、「どういった生活をおくることが認知症を防ぐことにつながるのか」、「認知症対策の運動」などを紹介しました。

「食事と栄養」では、「普段の生活に役立つ献立」、「健康な体のためのちょっとした意識づけ」など、健康に役立ち、退院後も続けやすい内容を紹介しました。健康教室後に個別質問タイムも設けさせていただき、「みんなの前では言いづらいけど、ちょっとした気になること」に食事のスペシャリストである当院の管理栄養士よりお答えしました。今後もテーマを変えながら、みなさんの健康をお支えできればうれしいです。

詳しくは総合受付、各階病棟にポスターを掲示しておりますのでぜひご覧下さい。病院スタッフ一同、たくさんのご参加を心よりお待ちしております。



▲ 今後の予定

花火大会ボランティア

参加

8月23日、八千代市では夏の風物詩である「第51回八千代ふるさと親子祭り」が開催されました。5000発の花火は素晴らしく綺麗で、参加した方にとって夏の良い思い出になったのではないでしょうか。翌朝6時からは清掃活動が行われました。お祭りの疲れが残る体に鞭を打って、当院からは多職種10名のスタッフと子供3名の合計13名がボランティアとして参加しました。お祭り会場周辺のごみ拾いを担当しましたが、思ったよりごみが少なく参加者のマナーに感心しました。ごみ拾いも会話しながら楽しく行うことができ、スタッフ間の良い懇親の場になりました。地域への貢献ができるよう今後もボランティア等積極的に参加していきたいと思います。





POINT

これからの季節に役立つカラダケア！

ワンポイントレッスン



こむら返り

どちらかの足を後ろにし、前後に足を開きます。踵が床から離れないようにし後ろ足は伸ばしたまま前足の膝を曲げていきましょう。ふくらはぎに痛みを感じる手前で維持をしましょう。(10秒～30秒)



肩こり❶

肩の上に手をのせます。肘で出来るだけ大きな円を描くように肩を回します。(前後5回)



肩こり❷

手を前で組みます。息を吐きながらゆっくり腕を前に伸ばし背中を伸ばします。息を吸いながらもとに戻ります。(5回)

レスキュー キャリーマット研修会



令和7年8月8日、災害対策委員会でレスキューキャリーマットの手技獲得を目的とした研修会を実施しました。マットを使用し患者役や搬送役を実体験したことにより、災害時に備えて意識を高める良い機会となりました。この経験を活かし、万が一の事態に職員が対応できるように備えていきたいと思います。





2025.08.08

レスキューキャリーマット研修会

2025.08.18

避難訓練

令和7年8月18日、リハビリテーション室での火災を想定した避難訓練を実施しました。初期消火、通報、患者役の避難誘導を行い、車椅子・キャリーマット搬送、独歩誘導など実践的な方法で避難を確認しました。職員間の連携を強化し、迅速かつ安全な対応ができる体制を確認しました。これからも安心して入院して頂ける環境づくりに努めます。

避難訓練









むすび プロジェクト

飛びたとう！ むすびプロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介いたします。

第22回 関東KG学術大会 むすびプロジェクト活動の報告

令和7年2月22日（土）に第22回関東KG学術大会が八千代リハビリテーション学院で開催されました。関東KG学術大会とはカマチグループに所属する関東地域の各病院が研究成果を発表する場です。今回のテーマは「生活期の患者支援について」でした。一般演題として17件、学術顕彰として5件の発表が行われました。学術大会の中で八千代リハビリテーション病院・理学療法士河合大介と原宿リハビリテーション病院・看護師黒木博文が「LINE」「復職・就労支援」「心の交流会」を中心としたむすびプロジェクト活動報告を行いました。

多くのスタッフにむすびの活動内容を広く知っていただく良い機会になり報告後は活動に対して賛同する意見もいただきました。大会総括として座長のリハビリテーション関東統括本部長稲川利光先生が生活期の患者支援についての大切さを話されました。この学術大会で得た学びを活かし退院支援の質の向上に取り組んでまいります。



▲黒木博文看護師（左）・河合大介理学療法士（右）


▲むすびプロジェクトメンバーで集合写真

献血！

当院には年に2回ほど日本赤十字社の献血車が来ます。
7月8日には2時間の間に23名の職員たちが献血に協力しました。
その時の献血の様子をご紹介します。

まずは「献血」について豆知識

献血の主な目的は、病気や怪我で輸血を必要とする患者さんの命を救うことです。

血液は体内でしか作られず（人工的に造ることはできません）長期保存もできません。

献血によって提供された血液は、輸血用血液製剤や血漿分画製剤として、手術や事故による出血、病気による貧血など、様々な状況で患者さんの治療に使われます。







当日は体重測定、質問事項の回答、血圧測定、医師の問診後、ここまで問題がなければ献血車の中へ移動。事前の血液の検査が行われ、いよいよ献血開始です。

献血終了後は血圧測定、献血後の注意事項などの説明を受け、水分を摂りながら15分程度休憩し献血終了です。

当院の1Fエントランスで献血受付を行っていた為、面会に来ていたご家族様のご協力をいただくこともできました。

今後も定期的に献血に協力していきます。



